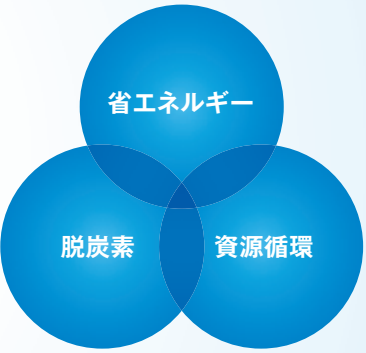


熱・水・環境の分野で価値を創出

ボイラ事業で培ってきた熱と水の技術を駆使し、ミウラはさまざまな商品を製造しています。これらの多彩な商品を組み合わせ、幅広いお客様の課題解決を実現する「ミウラのトータルソリューション」を推進しています。



また、私たちは企業理念に基づき、世界のお客様に愛され信頼されるベストパートナーとして、省エネルギーと環境保全でお役に立つことを使命とし、事業活動を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献しています。

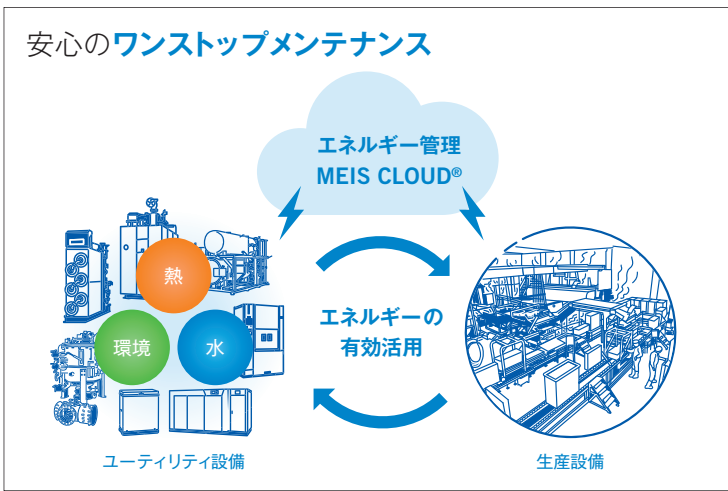


トータルソリューションによってさらなる省エネルギーを実現



工場や船舶、病院など幅広い現場で抱える全体のエネルギー問題の解決に向け、ミウラグループでは主力の貫流ボイラなどで培った技術を核として、周辺機器である水処理や食品、メディカル、排ガスボイラなどの機器を取り揃え、省エネルギー性の高いこれらの製品と、各種設備を最適な状態で設置・管理することで、より一層高効率で省エネルギーな施設をワンストップでご提案します。

設備のご提案から最適化、さらにはメンテナンスなどのサポートまで、幅広く対応する——これがミウラの「トータルソリューション」です。

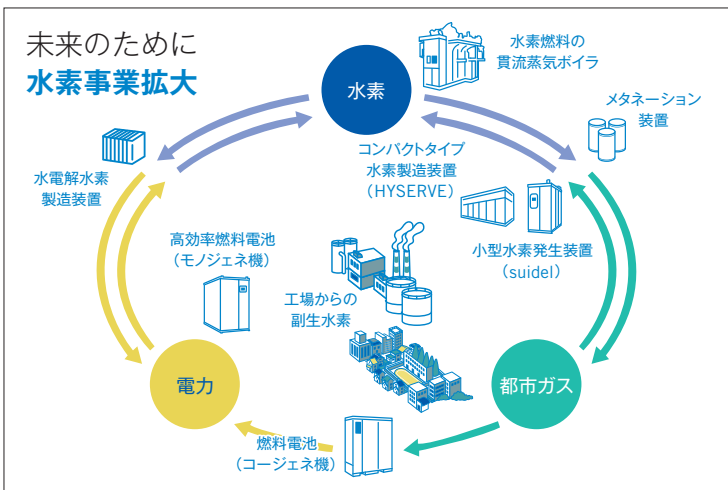


水素社会実現に向けた取り組み



世界共通の目標である地球温暖化対策において、ミウラでは現在、燃料電池をはじめ、水素燃料ボイラや水素発生装置の開発など、新たなエネルギー活用のアイデアを事業化する取り組みを進めています。

燃焼時の生成物が水のみである水素について、当社では2017年から、広く熱源として利用されている貫流ボイラで日本初の100%水素燃料ボイラを製品化しています。引き続き、水素の積極的な利用技術を開発し、省エネルギーかつ環境に優しい水素社会の実現に貢献していきます。

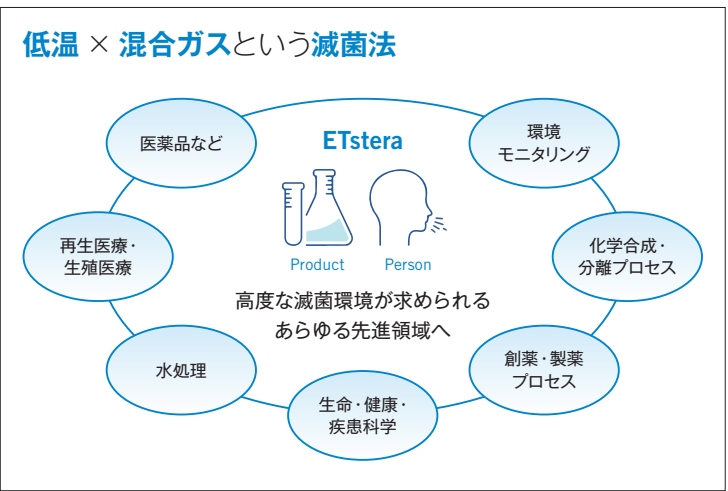


世界を変える低温滅菌技術



ミウラが開発した、革新的な次世代の滅菌技術「ETstera（イーティーステラ）」。混合ガス処理技術により、従来の滅菌法では十分に不活化できなかったエンドキシンを99.9%以上不活化することができます。また、低温での滅菌であるため、高温滅菌法に比べて樹脂やプラスチックといった耐熱性のないものでも対象物を選ばず滅菌が可能となるうえ、手間やコストの負担も大きく低減できます。さまざまなシーンでエンドキシシンを不活化できるからこそ、高度な滅菌環境が求められる先進領域での利用にも適しています。

感染症対策からバイオテクノロジー、先進医療まで、あらゆる現場をミウラは最新の滅菌技術で支えています。



海洋生態系の保全



バラスト水とは、船舶のバランスを保つため、空荷での出向時に船底に大量に積み込まれる海水のことです。このバラスト水を到着後の港で排水すると、なかに含まれる外来生物が排水地の生態系に影響を与えてしまう可能性があります。ミウラは、海水中の生物をフィルタによる除去と紫外線による殺菌を組み合わせることで、薬品を使用しないクリーンな方法で精度の高い処理を実現しています。

また、バラスト水処理装置の排水からマイクロプラスチックを回収する装置を共同開発し、一般商船での世界初のマイクロプラスチック回収試験採取を実施しました。

このような海の生態系を守る取り組みを通じて、地球規模の環境保護に貢献していきます。

